

都市大塩尻

完成度の高いサッカーで連覇を目指す。全国経験者が多く、特に攻撃陣は能力が高い選手がそろそろ。今夏の県総体決勝で創造学園に逆転負けを喫してインターハイ出場を逃しているだけに、今大会に懸ける思いは強い。青島主将は「あの負けがいい経験になった。自分たちのサッカーを貫き、また全国の舞台に立ちたい」と意気込む。

攻撃力が最大の武器で、サイドを起点に縦に速いサッカーが持ち味。

攻撃多彩 連覇へ陣容充実

ドリブル突破で状況を打開できる力に加え、運動性の高いパス交換でサイドを切り崩す。攻守のバランスを取るのがうまいボランチの青島主将を中心に、FWの代田や平林、左サイドハーフの鮎沢涼らがどこまで躍動できるかが勝ち上がりを左右する。

守備陣も安定感を見せ、ここまで4試合を無失点と堅調だ。最終ラインに上背がある選手はいないが、高橋裕之監督は「しっかりカバリング



や体を張っていて、力は上がってきている」とうなずく。

ただ「まだ都市大らしいサッカーを見せられていない」と青島主将。高い理想を掲げ、目の前の戦いに全力を傾注する覚悟を示す。



第94回全国高校サッカー選手権大会は31日、松本市の総合球技場アルウィンで準決勝を行う。中信勢は創造学園、松本第一、都市大塩尻の3校が勝ち上がっており、創造学園と松本第一は中信勢対決で、都市大塩尻は東海大三との対戦で決勝進出を目指す。決勝は7日にアルウィンで行われる。(山浦雄一郎)

創造、第一、都市大 中信3校

いざ決勝へきょう激突

きょうの試合
—準決勝—
アルウィン
創造学園—松本第一
(午前10時30分)
東海大三—都市大塩尻
(午後1時)

創造学園は3回戦から登場し、ここまで3試合を無失点で切り抜けてきた。松本第一は初戦の2回戦以外は失点しているが、守備からリズムをつくる展開を持ち味とする。両校とも守りに自信を持っているだけに、先取点の行方が試合の流れを大きく左右しそうだ。攻撃は個の力が上回る創造学園に分がある。松本第一はカウンターとセットプレーに勝機を見いだしたい。都市大塩尻は攻撃力が魅力で、4試合21得点と好調を維持している。個人能力が高く、今季の県リーグ戦を全勝するなど、圧倒的な強さを見せる。ただ、東海大三とは2回の対戦でいずれも1点差ゲームと競っている。東海大三は前線からのプレスや球際に強さがあり、連覇に向けて勝負どころになりそうだ。

■この記事・写真等は市民タイムスの許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

学校法人 五島育英会